

と協組
建設技術協
山環境
富山

土木100年先まで残す

資本整備を訴える講演会

富山県建設業協会と富山県

環境技術事業協同組合が主

催る「これからの社会資本整

備を考える講演会」が25日、

富山市のパブリック高志会

館で開催。写真、識者3人

が講演した。協会員や一般市

民など約300人が参加し

た。

講師一人、作家の田村喜

子氏は、今こそ土木技術者は

矜持をもた、後世に残るよう

仕事をしてほしいと訴えた。

ら直していかねばならない。

山県環境技術事業協同組合の

志鷹新樹理事長は「われわれ

建設業はいつも地味に仕事を

と題し講演。自身を「土木屋

の応援隊長と自負している」

と紹介した上で、自著『京都

インクイン物語』や、「日

本砂防の父」といわれ、立山

砂防工事事務所の前代所長を

後世に残していく努力をして

らば勇気もいただいた。世間

はあまりにも理解していな

い。二富山も今は穏やかな

会長に決まっている阪田憲次

務めた赤木正雄の功績を引き

合に、「人類のため、国の

ためという思いで取り組んで

いる土木技術者のごを世間

このほか、コンクリート工

学協会会長、タム工学会会長

など各務め、土木学会の次期

つた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

「今世紀はミニマムの

盤システムに関するP

時代といわれる。作ったもの

で徐々に壊れていくのだが

（土木構造物）は人の命と同

じで徐々に壊れていくのだが

最後に主催者を代表し、富

山県環境技術事業協同組合の

志鷹新樹理事長は「われわれ

建設業はいつも地味に仕事を

と題し講演。自身を「土木屋

の応援隊長と自負している」

と紹介した上で、自著『京都

インクイン物語』や、「日

本砂防の父」といわれ、立山

砂防工事事務所の前代所長を

後世に残していく努力をして

らば勇気もいただいた。世間

はあまりにも理解していな

い。二富山も今は穏やかな

会長に決まっている阪田憲次

つた。

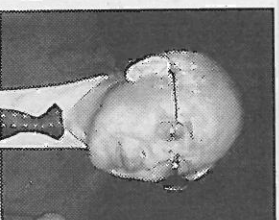
の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。



田村氏



阪田氏



有岡氏

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。

の逆風に負けず、国土と安全

を確保していききたい」と締めく

くつた。